

学習活動を維持しながら **レベル2** で対応します。

【青字は緊急事態宣言時の対応】

		レベル1 感染注意	レベル2 まん延防止等重点措置区域、緊急事態等の宣言 R4.8.4 京都 BA.5 対策強化宣言による	レベル3 「特定（警戒）都道府県」に相当 校内で集団感染の確認
校 内	距離のとり方	1 m以上	2 m（最低でも1 m）	2 m（最低でも1 m）
	合同授業 （体育館・グラウンド等の広い場所）	○（適切な距離をとった上で、グループ合同授業を可とする）	○（感染状況を把握し、適切な距離をとった上で、2・3クラス合同授業を可とする） 【管理職との相談・計画の事前提出】	×
	歌唱	○	△（適切な距離をとった上で、大声は控える）	×
	部活動	○	△（内容の変更や取り組む規模の見直し、時間短縮等）	×
	調理活動	△【管理職との相談・計画の事前提出】	×	×
校 外	校外学習（学校周辺）	○	○ 緊急事態宣言 → △（内容の変更や取り組む規模を見直し、時間短縮等）	△（学校周辺の散歩程度）
	校外学習（スクールバスの利用・近隣のスーパー等）	△	△（内容の変更や取り組む規模を見直し、時間短縮等） 緊急事態宣言 → △【管理職との相談・計画の事前提出】	×
	校外学習（公共交通機関の利用）（+現場実習・販売学習）	△	△（内容の変更や取り組む規模を見直し、時間短縮等） 緊急事態宣言 → △【管理職との相談・計画の事前提出】	×
医ケア クラス	他クラスとの合同学習	△	△【管理職との相談・計画の事前提出】 緊急事態宣言 → ×	×
	医ケアクラスへの職員の入室	○	△（状況に応じて専用服に着替える）	×
他 校 と の 交 流	交流及び共同学習	△	△	×
	居住地校交流	△	△	×
	他校での実習・学習等 （地域の小・清掃活動等）	○	△（教育課程、進路指導上、必要な活動に限る） 緊急事態宣言 ×	×
保健室	発熱者の対応	保健室でカーテンで仕切って対応	保健室でカーテンで仕切って対応 （状況により「教育相談室」その他別室対応）	必要に応じて「教育相談室」を待機場所とする（隔離の徹底）
	健康チェック	毎朝	毎朝 発熱者とクラスに2日間 「検温の記録」	毎朝 「検温の記録」 発熱者とクラスに2日間 ↑
		健康チェックの徹底（発熱・欠席理由） 9：30に集約		
		1 保護者からの欠席連絡等は、スクールバスと学校の両方をお願いします。 2 発熱等体調に変化がある場合は、直ちに保護者のお迎えをお願いします		
	健康診断・発育測定	○	△（過密にならない配慮を行う/状況により延期の判断）	×
給食	配膳		※ 食缶・食器の返却は教員が行う。（取りに行くことは生徒の活動可）	
				△感染症対策を徹底して実施 （給食を提供しない可能性）
		○（生徒の当番活動可。但し残菜の取扱は教員が行う）	△（教員による配膳）	
	摂食指導	○（対面での摂食は控える）	△（対面での摂食、食べながらの介助は控える／対面時はフェイスシールドの使用）	△感染症対策を徹底して実施 （給食を提供しない可能性）
	ランチルームの使用	○（対面での摂食は控える場合により対象クラスの制限）	△	×
	（歯磨き）指導	○（距離・時間差を配慮） ※指導の際は、フェイスシールド・使い捨て（ゴム素材）手袋・長袖エプロン等の着用	△（回数を制限する等、距離・時間差を配慮）	△感染症対策を徹底して実施 （状況を見て一定期間、歯磨き・指導は実施しないことを検討）
授業参観等	授業参観、学校行事への保護者の参加	○（原則、学部内での参観とする）	△（自学級のみ参観可とする） （懇談等は環境や人数を考慮して可とする）	×
消毒	職員による消毒作業	適宜・必要に応じて消毒	適宜・必要に応じて消毒（校内・SB）	活動の区切り、また移動の際に小まめな手洗い・手指消毒を徹底
その他	トイレ掃除など	※ 教職員・指導生徒とも 手袋の着用・飛沫感染防止等の対策を徹底		

対応の基本： 3 密を避けて、マスク着用、手洗い・手指消毒を心がけましょう。

1 ランチルームの使用について

レベルに応じて使用の可否を決定する。**開校時（令和4年4月中）は例外として、使用しない。**5月からレベル1対応を実施する場合、状況を判断した上で使用開始する。

2 手洗いについて

残菜・使用後食器を触った後や、食前・食後の手洗い・アルコール消毒を確実に行う。

3 使い捨て手袋

教室に1箱ゴム素材の使い捨て手袋を置いている。基本的には嘔吐物の処理やトイレ介助等汚染作業をする用途で使用する。手洗いを確実にすることが基本のため、配膳の際には使用しない。歯磨き指導、残菜を取り扱う際には使用可。

4 机の消毒

配食、喫食で使う机は、給食室から配布する台拭きで水拭きし（汚れが残っているとアルコールの殺菌効果が発揮されない）乾いた後、アルコールをペーパータオルに噴霧し、机を拭いて消毒する。